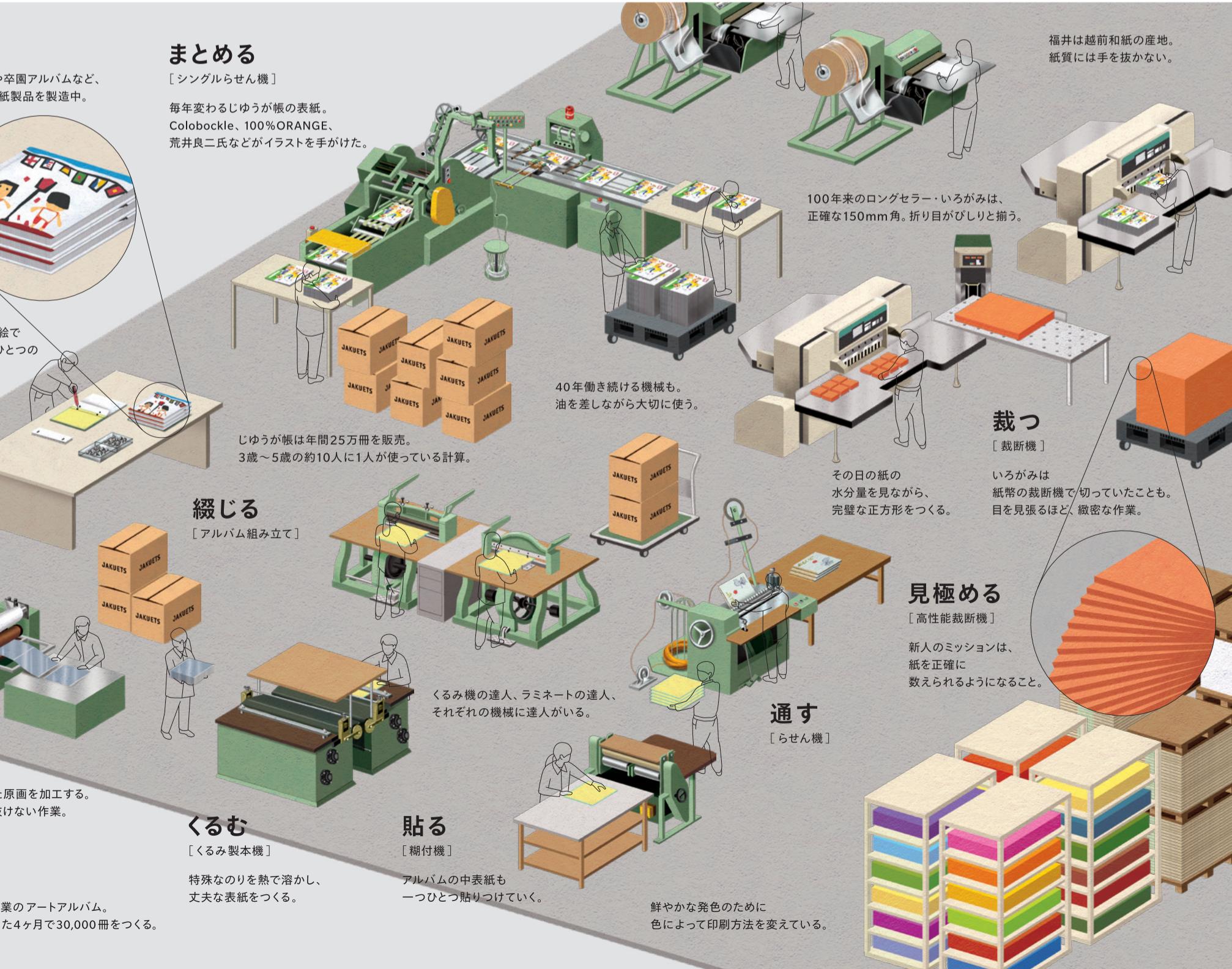
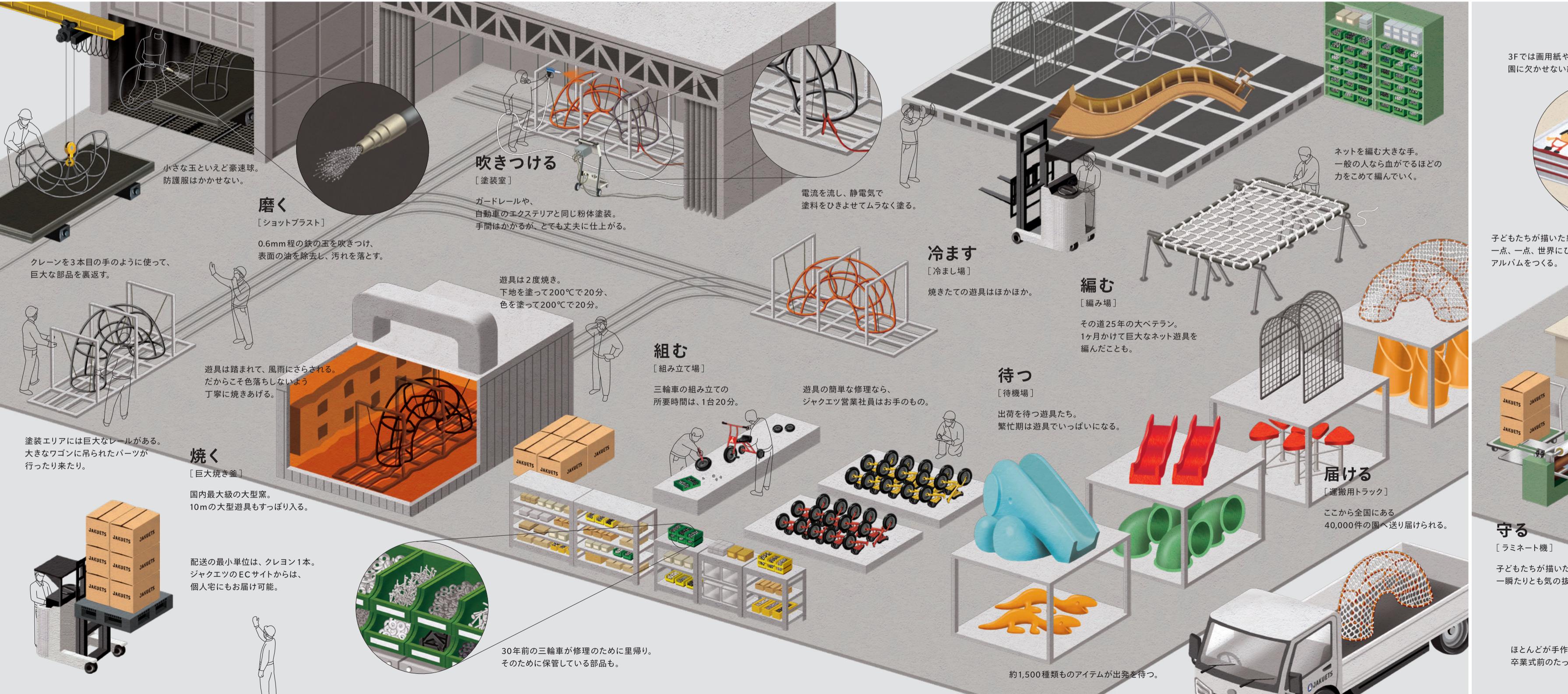
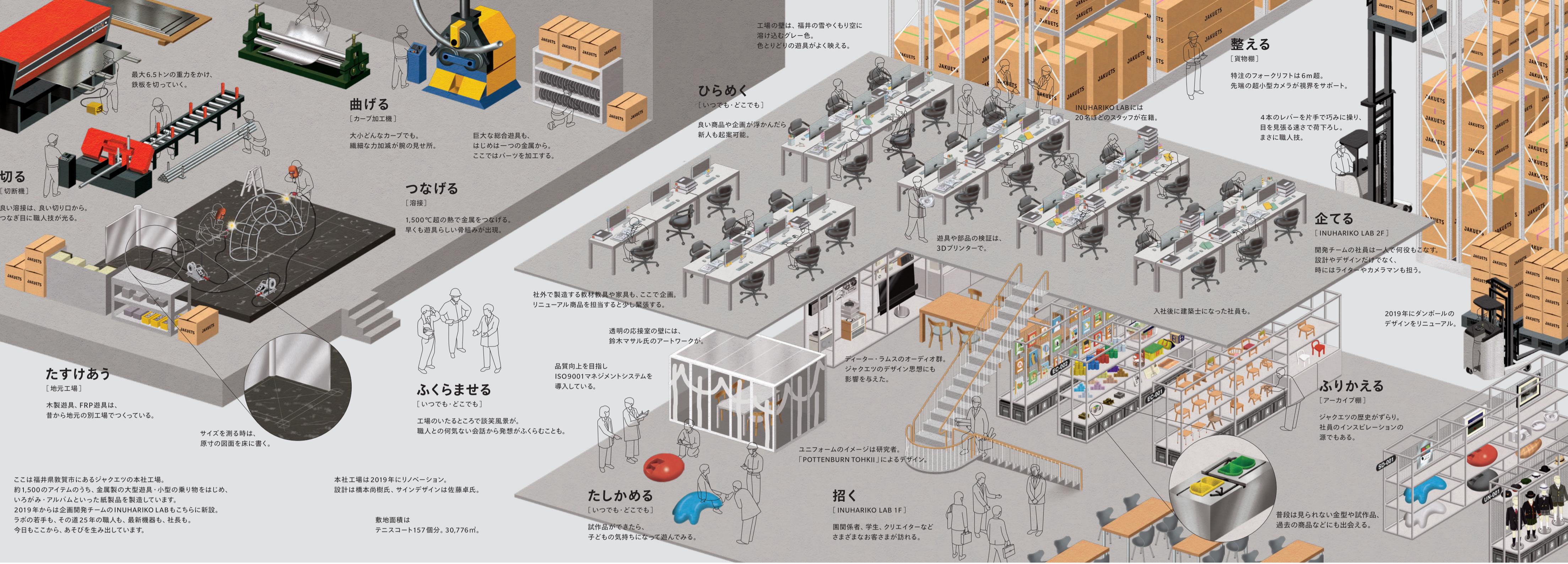


JAKUETS

ENTRY BOOK



起きてから、眠るまで。

子どもたちの生活は「あそび」でできています。

そしてそのすべてが、ジャクエツの仕事です。

毎日座るイスも。覚えたての道具も。

真っ白な紙も。いつもの木陰も。

手のひらの心地よさも。

公園も。美術館も。あいさつも。

もしかしたら、おいしさだって、

生きものだって、テクノロジーだって。

子どもたちに、わたしに、あなたに。

つぎは、あそびに何ができるだろう。

【デザイナー制服】

おしゃれは、
はじまっている



「園児服＝スマック」時代から、
動きやすくて洗練された
デザイナー制服を企画・製造。
背景には「子どもたちに本物を」という
社の理念が。

「ツリーハウス」

つくっているのは
風景です

木製遊具はもちろん、
水場や緑の斜面など
園庭全体を考慮。
自然に近い環境であそべる
ランドスケープをご提案。



【乗物シリーズ】

三輪車であそぶ子どもを見ていた
先生たちの声から生まれた、四輪車と二輪車。
みんなが夢中になれる「乗物」だからこそ、
一人ひとりの成長にちょうどいい選択肢。



【ブティオフレ】
小さくたって一人前

「トイレ＝暗い、汚い、くさい」を変えた
ドライ清掃のトイレ。
使いやすく掃除のしやすい子ども用便器を開発し、
トイレをひとつ空間として完成させた。



【はみデラックス】
どんな力作にも
お供します

オリジナルのはみは、
刃物の名産地。
岐阜県関市の職人が
一本一本丁寧に組み合わせを調整。
長く、安全に使ってほしいから、
小さな手に合わせた工夫を。



【PLAY COMMUNICATION】
あそぶだけで

子ども同士のコミュニケーションを促す。
あたま・こころ・からだが
バランスよく育まれるしかけが詰まったデザイン。
医学博士の前橋明氏と開発。

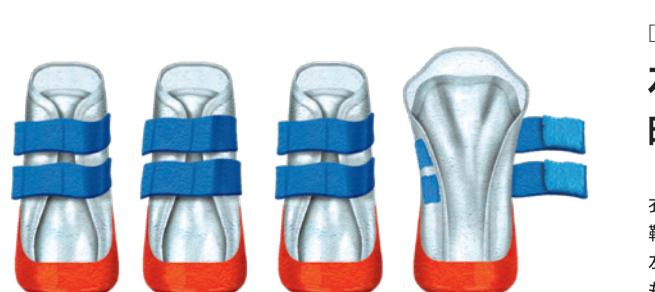
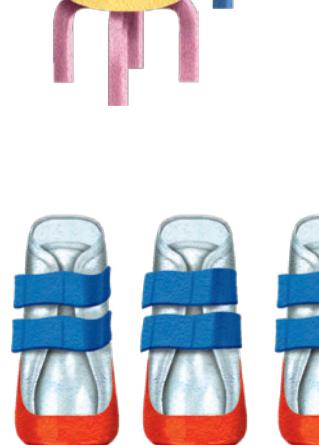
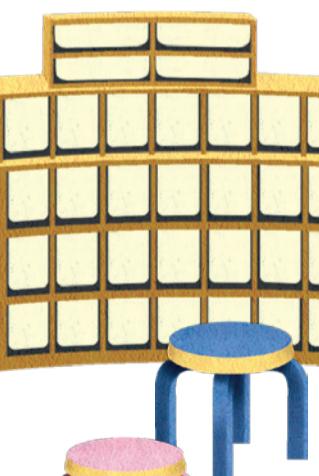
【JQ遊具安全規準】
未来のキケンに
先まわり

子どもの各年齢層（乳幼児）に対応した
ジャクエツ独自の安全規準。
全国の園の声を反映し、
日々項目を更新中。
最近は、安全知識を生かした
コンサルティングの依頼も。
「ネットの間隔は適切か」
「かばんや衣服がひっかかるか」など、
大型遊具ともなると、
70箇所以上の確認ポイントが。

JAKUETS

【リスコ・ソルス】
不思議なともだち

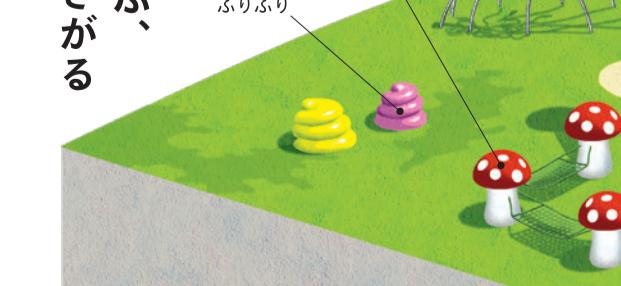
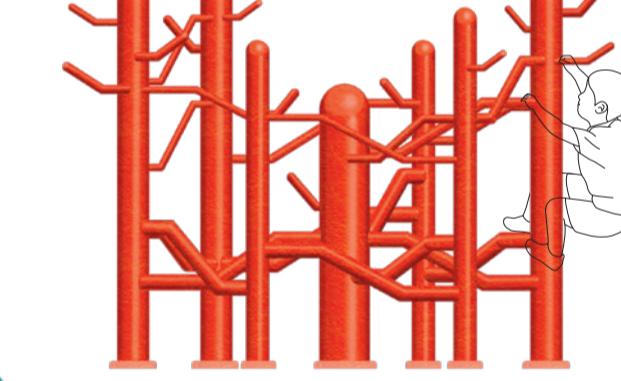
思わず触れ合いたくなる滑り台や、
話しかけてくる遊具。
フィンランドのデザイナー、
エーロ・アールニオ氏と開発。



【ふかさわミル保育園】
子どもの生活美学

【防災シューズ】
左右をなくすと
時間が生まれる

衣食住はもちろん、防災用品も。
靴底が防刃チョッキと同じ素材の避難靴。
左右の区別がないため、
もしもの時も迷わず履ける。



【SANGO】
あんな姿勢
こんな姿勢
つづつぎと

「木のぼり」のようなあそびができる
ジャングルジム」をコンセプトに。
若手社員が協して企画。
あえて、握れない大きさの幹、
斜めの枝などをつくり、
複雑な体の動きを引き出す。

【ローラー滑り台】
お尻今まで
楽しませたい

ペアリングの工夫により、
なんとかすべり心地が長くつく。
360度の急旋回や、
数百mの長さなど、
環境に合わせてオーダーメイドも。

【OMOCHI】
あそんじゃうもの

一見、シンプルな形の中に
詰まっているのは、
思わずよじ登ったり、
すべりたくなる曲線や面の数々。
デザインは深澤直人氏。

【カルム】
はじめての個室

実は、子どもは
静かでせまい場所も好き。
吸音材質のテント構造で、
あつとい間に
「落ち着く個室」が完成。

【Bブロック】
三世代ブロック

大きいやわらかいので、
安全にあそべるB型のブロック。
1966年発売、親子三代の愛用者も。
近年は東京藝術大学との共同で、
Bブロックを積んで実物大の
ピアノやドレスをつくるなど、
ブロックの力を越えた
あそびの研究も行う。

【ピットチェア】
姿勢はイスで育つ

人間工学の専門家と開発。
骨盤びびっと支える腰板、
おしゃり太ももに沿う
立体の座面が、
子どもの姿勢を正し、
集中力や身体の
健やかな発達を助ける。



【GAMBA】
こころ、からだ、
ぜんぶで挑戦

「やってみたい！」と「できた！」の体験ができるクライミング。
ルートの可変性や、手の大きさに合わせたオリジナルホールなど、
小さい子もチャレンジできるしかけが盛り込まれている。
ホールを固定する機構で特許を得た。